

児童の実態

本学級の児童は、全体的に学習に意欲を持って取り組むことができ、担任や友だちと話をすることが好きな児童が多い。家庭での出来事や、友だちと遊んだこと、習い事のことなどいろいろな会話を楽しんでいる。しかし学習活動の中では、短い文での表現はできるようになりつつあるが、自分の思いや考えを言葉で伝えたり説明したりすることに苦手意識をもっている児童も少なくない。7月に行ったアンケート「自分の思いや考えを安心して言えますか。」の項目においても強肯定75.8%、弱肯定24.2%となっていた。また、一方的に思いや考えを伝えるのみで友だちが話すことへの意識が向いていないことも多く、伝えたい人に届けるための話し方や大事なことを落とさないような話の聞き方がまだ十分定着していない。1学期の単元テストでは、『話すこと・聞くこと』領域において、話し手が見つけたものについて聞き取る問題では、何を見つけたかについては正答率が高かったが、どこで見つけたかについては誤りが多く最後までしっかり聞くことに弱さが見られる。

単元デザイン

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における〔思考力・判断力・表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」(1)オ「互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。」に関連し、話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有という「話し合うこと」の系統に位置付けられる最初の単元である。児童はこれまで大事なことを落とさないように集中して聞くこと、経験したことをまとめてみんなの前で話すこと、友だちの話聞いて感想を伝えたり質問したりすることを学習してきたが、この時期の児童同士の会話においては、それぞれが言い合って満足している状況が見られる。そこで本単元では、少人数で話し合う活動に取り組み、相手の言葉を繰り返したり質問したりして、話をつないでいくことができるようになることをねらいとしている。話し合う活動を通して、相手の話を受けて話をつないでいく楽しさや、自分の話を受けとめてつないでもらう喜びを感じられるようにしたい。また、相手を見ながら話し合う、相手の言葉にうなずきながら聞くといった態度面の心遣いにも気づかせ、今後の話し合う活動においても活用させていきたい。

単元の導入では、教科書の作品を見てどれが何に見えるか思いついたことを教師や友だちに話す。その後、教師の作品モデルを示し、見立てるおもしろさを感じさせるとともに、人によって見方が異なることに気づかせ、話し合うことへの意欲を高めるようにする。話をつなぐために大切なことを考える場面では、対話例や教師とのやりとりを通して、相手の話を受けてうなずく、聞いた言葉を繰り返すなどの聞き方の良さや、質問によって話がつながっていくことにも気づかせたい。また、子どもたちが対話をしながら見つけ出した話を楽しくつなぐための具体的な言葉や仕草を自分たちの話し合いで使うように意識させたい。本時では、図工で作った作品が何に見えるかについて3～4人のグループで「考えを話す人」「聞く人」に分かれて話し合う。その際、安心して話し合いに参加できるように事前に自分の思ったことや考えたことをまとめさせたり、出そうな質問の観点を共有し、それに答えられるように想像を膨らませたりしておく。話し合いの役割を交代し、その都度気づいたことを共有しながら話し合いを繰り返すことで言葉の力を豊かにしていきたい。また、本単元でつけた力を他の単元や他教科、実生活の場においても意識的に使用し繰り返し運用していきながら定着させ、話がつながることの楽しさやよさを実感できるようにしていきたい。

研究主題に迫る手立て

安心できる学級・学校づくり

～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

- 【自己決定】自分の考えや思いを持つことができるようにするために、ワークシートを活用する。
- 【自己存在感】自分の考えや思いを伝えられるようにするために、ペアやグループでの対話を仕組む。
- 【共感的人間関係】相手の話を受けとめることができるようにするために、共感的な言葉を使ったり質問したりしながら話を聞くことを意識した対話の活動を仕組む。

なにに見えるかな(全6時間)

学習活動	①学習課題をつかみ、学習計画を立てる。	②対話例の中から話を楽しくつなぐ言葉を見つけ、どのように話をつないでいるか話し合う。	③図工で作った作品を見て、どれが何に見えるか考えを持ち、友だちに質問されそうなことや、その答えを考える。	④役割を決め、交代しながらグループで話し合う。(本時)	⑤話を楽しくつなぐ言葉や仕草を分類してまとめる。	⑥単元を通しての学習の成果を振り返る。
	言語活動	「何に見えるのか」ペアやグループで考えや思いを伝え合いながら話し合おう。				
思考力	相手の思いや考えに着目し、どのような言葉を使って話をつなぐのか考え話し合う。					

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 【(1)ア】	・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。【A (1)オ】	・互いの話に関心を持ち、進んで教師や友だちと話し、質問をしたり、聞いた言葉を繰り返したりして相手の話を受けとめ、話をつなごうとしている。

単元の主な資質・能力

1・2年

互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。

単元の目標

【知識・技能】

・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。(1)ア

【思考・判断・表現】

・互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。A(1)オ

【学びに向かう力、人間性等】

・言葉が持つ良さを感じるとともに、思いや考えを伝え合おうとすることができる。

本単元終了時の目指す児童像

互いの話に関心を持ち、質問をしたり、聞いた言葉を繰り返したりして相手の発言を受けとめながら話をつないでいる。

3・4年

目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

5・6年

互いの立場や意図を明確にししながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

中1年

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。

本時の目標 相手の発言を受けて、質問したり受けとめる言葉を使ったりして、話をつなぐことができる。

本時における見方・考え方 相手が想像したことを表す言葉に着目し、話をつなぐために必要な言葉を考える。

学習の流れ

1. 前時の学習を振り返る。
2. これまでに見つけた話をつなぐ言葉を振り返る。
3. グループで話す。
4. 気づいたことを発表する。
5. 学習のまとめをする。
6. 振り返り

はなしをつなぐことば

○うけとめる

- ・くりかえす（くに見えるんだね）
- ・なるほどね
- ・ほんとうだ
- ・いいね

○しつもんする

- ・くがくなの？
- ・どのぶぶんがくなの？
- ・なにをしているところなの？

○うけとめる

- ・あいてのほうを見て聞く。
- ・うなずく。
- ・さいごまで聞く。

ふりかえり

・ともだちのはなしを聞く

・つなぐことばをつかう

たのしくはなしあうことができる

はなしがつながっている対話例

やくわりぶんたん

○なに見えるかかんがえをいう人

○聞く人

なに見えるかな

はなしをつなぐことばをつかって

ともだちとたのしくはなしあおう。

評価

【思考・判断・表現】

相手の発言を受けて、質問したり受けとめる言葉を使ったりして、話をつないでいる。（つなげて話をしている。）

B評価

相手の考えに対して質問できている。

A評価

相手の考えに対して質問をしたり受けとめる言葉を使ったりして、やり取りを繰り返すことができている。

つかむ・見通す
(話し合いの進め方・検討)

解決活動
(考えの形成)

まとめ・ふり振り返り
(共有)

◆前時を振り返る。
T: 前の時間になに見えるか考えてみてどうでしたか。
C: 詳しく考えたから説明ができそう。
C: 友だちに聞いてみたいことが見つかった。

◆これまでに見つけた「つなぐ言葉」を振り返る。
T: 話をつなぐための「つなぐ言葉」には、どんな言葉がありましたか。
C: 受け止める言葉があった。
C: 分からないことや聞いてみたいことを質問する言葉があった。

◆めあてを確認する。

話をつなぐ言葉を使って、友だちと楽しく話し合おう。

◆何に見えるかについてグループで話す。
T: みんなが見つけた話をつなぐ言葉を使ってグループで話し合ってみましょう。
※何に見えるか考えを言う役と聞く役に分かれて話し合う。

◆気づいたことを交流する。
T: できたことや困ったことはありませんか。
C: 質問することはできたけど、1回しかできなかった。
C: 受け止める言葉が1つしか使えなかったから、他の言葉も使ってみたい。
C: どのようなことを質問したらいいのかが難しく困った。
T: どのようなことを質問すれば話をつけられますか。
C: どの部分が何に見えるか質問する。
C: 何をしているところか質問する。
T: 新しく見つけた言葉や言い方はありませんか。
C: どうしてそう思ったのか質問した。
C: 次はどんなことをするのか質問した。
C: だれとするのか質問した。
T: 友だちの発表を参考にして、2回目の話し合いをしましょう。

※「話し合う」⇒「気づいたことを交流する」を繰り返す行う。
(対話1分間×3セット)

◆まとめ・ふりかえり

相手の話をしっかり聞き、受け止める言葉を使ったり、質問したりして話をつないでいくと、楽しく話し合うことができる。

※1回目と2回目の聞き役を比べての振り返りや、考えを言う役をやってみての振り返りを書くようにする。